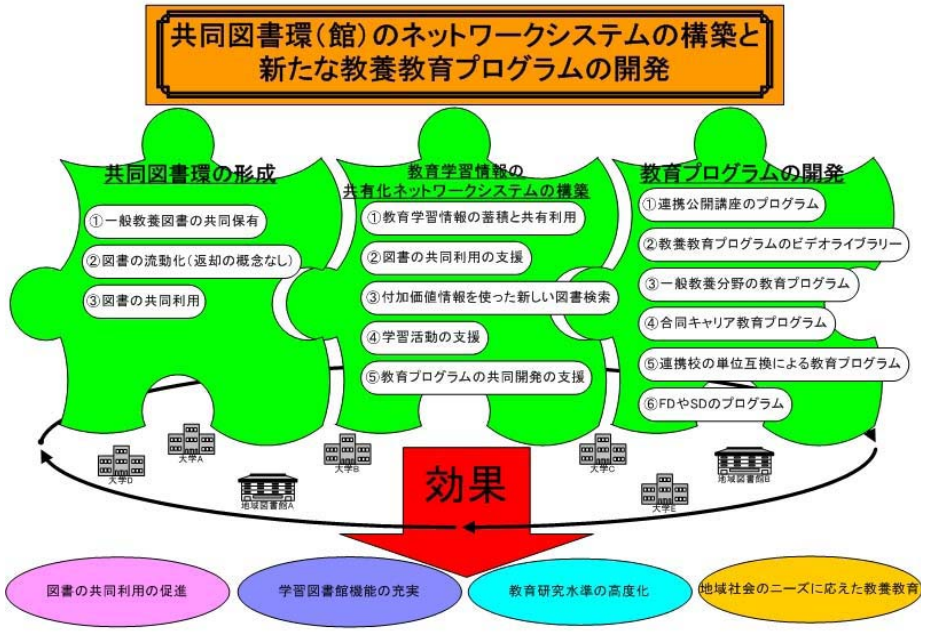
社会・地域連携（東海地区、鳥取大学、東北大学の例）

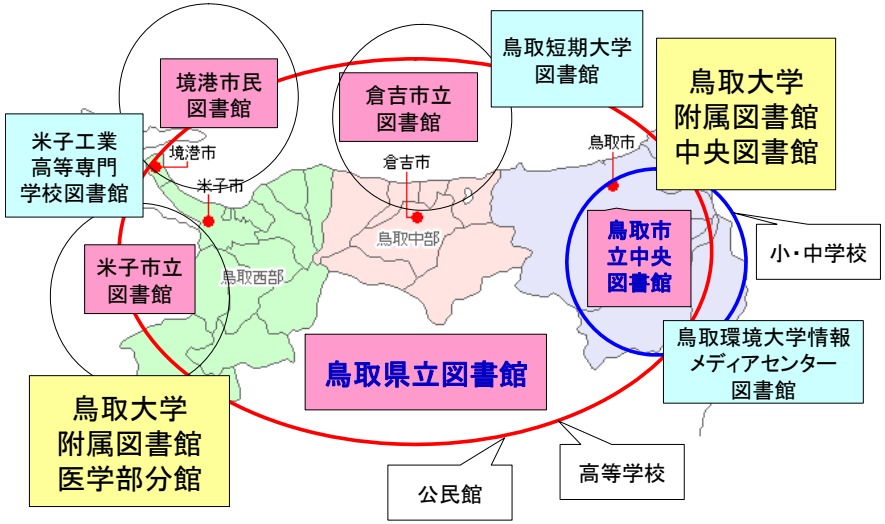
◎戦略的大学連携支援事業（平成20年度）

愛知県立大学、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学の5つの大学と2つの公共図書館が連携し、図書館間の本の返却の概念をなくすことによる共同蔵書作り、これに連動する新たな教育学習情報の共有化ネットワークシステムの構築、各大学の多様な個性・特色を活かした教養教育プログラムの共同開発などに取り組む事業



◎大学図書館と県内全市の公共図書館との連携を実現（鳥取大学附属図書館）

県立図書館及び県内全市の公共図書館と大学図書館の間で「相互貸借」が可能



◎東北大学が東京を会場にして貴重資料の大規模公開を実施（東北大学附属図書館）

博物館・報道機関との共催により所蔵する「漱石文庫」を本格的に紹介し、9 万人もの参加

（第34回学術情報基盤作業部会発表資料より）